

大田区 基本構想審議会 第1専門部会 資料


第5回

平成19年12月10日(月)



第5回 専門部会の議論内容

- まちづくり分野の議論
(第3専門部会からの要望の議論)
- 基本目標の検討、案の作成
- 個別目標の検討、案の作成



まちづくり分野の議論 (第3専門部会からの要望の議論)

【議論の論点】

ヒート・アイランド対策

雨水浸透

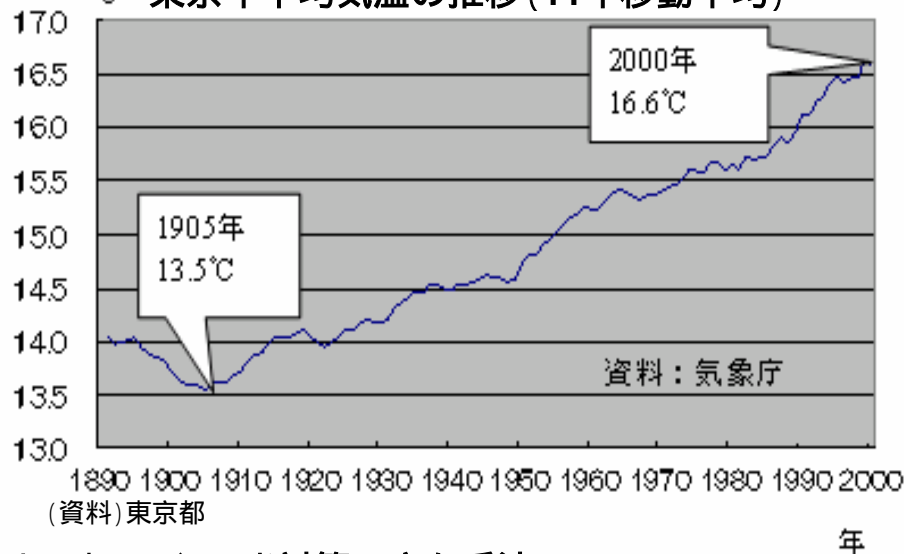
防災

防犯

ヒート・アイランド対策

ビルやアスファルト舗装による蓄熱や、人工廃熱の増加によって、都市部での気温が周辺部より高くなる「ヒートアイランド現象」への対応が課題となっている

°C 東京年平均気温の推移 (11年移動平均)



「地球温暖化対策・ヒートアイランド対策モデル地域」 (都市再生本部、東京都分)の概要

都心地域	下水等未利用エネルギーを活用した都市廃熱供給処理システム導入、屋上等緑化、保水性塗装等。
新宿地域	再開発事業等への環境配慮を内在化(建物の断熱性能向上、屋上緑化等)。新宿御苑を核とした地域の熱環境改善構想を作成。
大崎・目黒周辺地域	目黒川を軸とした風の道の確保、保水性舗装やまとまった緑の確保等を盛り込んだ環境配慮ガイドラインの策定と地域を挙げた取り組み。
品川駅周辺地域	同駅周辺の今後の開発に際し、風の道を含む新たな環境共生モデルを検討。大規模集合住宅等の建設に併せた建築物の省エネルギー対策、屋上等緑化を推進。

(資料)東京都資料等より作成

ヒート・アイランド対策の主な手法

屋上緑化・壁面緑化	気化熱など植物や土壌からの蒸発散による「潜熱」が増加し、大気を暖める「顕熱」が減少する。また、建物に伝わる「伝導熱」も減少するため、冷房効率が向上。
校庭芝生化、街路樹再生等	ヒートアイランド減少の理由の一つである緑・水面減少及び地表面の人口化を緩和(地表温度の低下等)。
保水性舗装・保水性建材	雨天時などに吸水した水分を晴天時に蒸発させ、気化熱を奪うことにより、路面や建物からの放熱を緩和。
高反射率塗装	太陽光中の近赤外線領域を効率的に反射して、昼間の建築物の蓄熱を抑制。
打ち水・散水	水の気化熱により、周辺の気温を下げる。
ドライミスト	人工的な微細な霧を発生させ、気化熱により周辺の気温を下げる。
「風の道」の確保	海上等から涼しい空気が都心に流れ込みやすくする。

(資料)東京都資料等より作成

雨水浸透

都市化の進展に伴い、地表面がアスファルトで覆われ、雨水の地下浸透が妨げられて、河川や地下水の流量減少や湧水の枯渇が進行している。

雨水浸透の促進は、水害時の浸水被害や地盤沈下の抑制のためにも重要と考えられる。

雨水浸透等に係る主な手法

雨水浸透施設	雨水浸透ます、雨水浸透トレンチ、雨水浸透側溝など、地表面近くから水を地中に広く浸透させる施設・設備
透水性舗装	雨水を直接透水性の舗装体に浸透させ、路床の浸透能力により雨水を地中へ浸透させる舗装
浸透池	貯留施設の底面から貯留水を地中へ浸透させるもので、貯留による洪水調節機能と浸透による流出抑制機能の両機能を併せもった施設
雨水流出抑制施設	上記の他、芝生・草地等の自然浸透域、貯留槽等の施設

(資料)東京都、社団法人雨水浸透技術協会資料より作成

雨水浸透ますとその仕組み



雨水浸透ますは、雨水が浸透しやすくなるよう穴がたくさんあいている。雨水浸透ますに貯まった雨水は徐々に地中に浸透する。

(資料)東京都資料より作成

防災

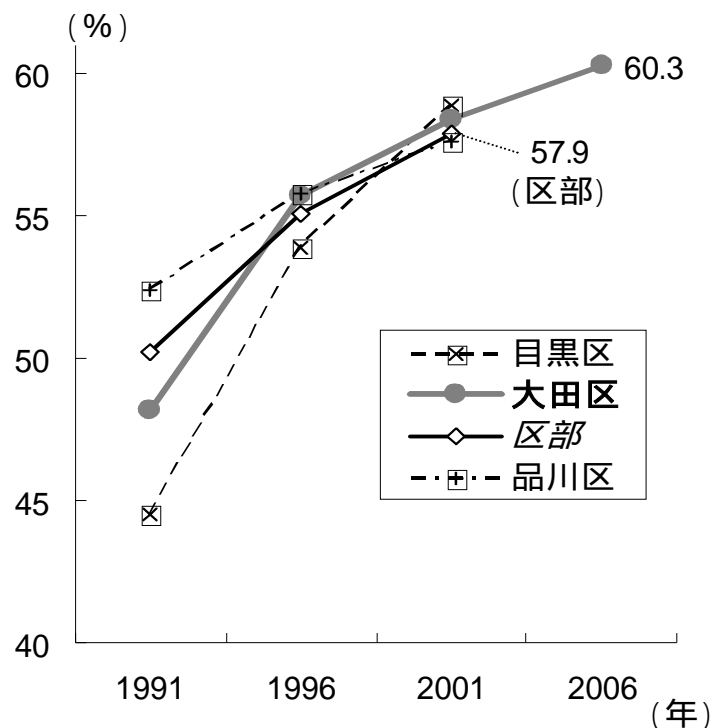
区では消防署等の関係機関と連携して、火災、水害、震災等の災害発生時の被害拡大防止のための様々な取り組みを行っている。
 建築物の不燃化や、浸水被害を抑制するための雨水浸透など、災害を未然に防ぐためのまちづくりに向けた取り組みも重要である。

大田区における主な防災政策

防災無線	■デジタル地域防災無線の整備
防災訓練	■地域行政センター毎に実施
市民組織等	■自治体・町会を母体とする「防災市民組織」の結成促進(結成率97%) ■市民消火隊へのポンプ及び格納庫の貸与 ■消防団への助成
防火水槽、備蓄倉庫等	■防火水槽の設置 ■学校備蓄倉庫、地区備蓄倉庫の管理 ■民間所有井戸水の運用(水質検査等)
協力協定	■災害時の応急対策活動態勢確立のために、他の自治体や民間団体等と協定を締結(避難所の開設・運営、避難住民への利用サービス提供、ケーブルテレビ事業者との協力等)
水防体制、演習	■区、消防署、消防団、ボランティア等による合同水防演習の実施 ■警報発令時の水防指揮本部設置

(資料)大田区区民生活部事業概要より作成

不燃化率の推移(第1回資料再掲)



(資料)「東京都統計年鑑」(東京都統計協会)等より作成

(注)不燃化率とは、建築面積の総数のうち、耐火建築物等が占める割合

防犯

各種の犯罪発生をまちづくりの観点から予防するためには、防犯の視点を計画段階から取り入れた設計の配慮やソフト面での取り組みを行うことが求められる。

防犯まちづくりに関する基本的な手法と大田区の取り組み

基本的な手法	具体的な手法例	大田区の特徴的な取り組み
「人の目」の確保(監視性の確保)	<ul style="list-style-type: none"> ■照明の確保(照明灯や樹木の維持管理等) ■見通しの確保(見通しの良い塀の設置、壁面後退による道路の見通し確保、植栽の剪定、等) ■監視性の補完(防犯カメラの設置等) ■防犯パトロールの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■街頭防犯カメラの整備助成 (蒲田東口・蒲田西口・京浜蒲田の各商店街に合計71台のカメラを設置) ■地域安全・安心パトロール活動支援 (自治会・PTA等に活動に使う資機材購入経費を助成。平成17年度からこれまで189件の助成を実施)
地域の共同意識の向上(領域性の強化)	<ul style="list-style-type: none"> ■住民等が維持・管理・利用する設備の設置 (コミュニティ花壇、掲示板の設置、等) ■地域のモラルの向上(落書き消し等) 	<ul style="list-style-type: none"> ■こどもSOSの家 (約5,500人の協力員に「SOSの家ステッカー」を貼付してもらい、子どもたちの一時避難場所や気軽に相談できる場所としている)
被害対象の回避・強化(防犯設備等の設置)	<ul style="list-style-type: none"> ■錠や窓ガラスの強化 ■緊急通報装置、防犯ベル等の設置 ■警察と地域の情報共有(防犯教室、等) 	<ul style="list-style-type: none"> ■こども緊急連絡システム (小中学校、児童館、幼稚園、保育園から保護者へ、不審者情報等をメール配信。約21,000人が登録)
犯罪企図者の接近の防止	<ul style="list-style-type: none"> ■建物の窓等の進入の足場の除去 ■入場者管理(オートロック等) 	

(資料)防犯まちづくり関係省庁協議会「安全で安心なまちづくり～防犯まちづくりの推進」、国土交通省「防犯性能を考慮した商業地の公共施設整備・管理手法の検討報告書」、大田区区民生活部事業概要等より作成

基本目標の検討、案の作成

基本目標とは

基本目標とは、領域別の目標のことです。

領域ごとに将来実現すべき姿を、簡潔な言葉とその説明文で表現していきます。

キャッチフレーズ： が、 するまち

【例示】

- 1案 「世界につながり 世界を支えるまち 大田」
- 2案 「誰もがどこにでも安心して動けるまちをつくる」
- 3案 「多様な交流を育む活力あるまちづくり」
- 4案 「くらしと産業が調和するまち 大田」
- 5案 「未来に受け継ぐ魅力が躍動するまち 大田」
- 6案 「まちの魅力と産業技術を誇る国際都市」

説明文(例示)

これまで築き上げてきた都市環境や産業技術を土台に、人を引きつける個性ある都市空間を形成し、創造力あふれる産業が成長します。

また、羽田空港の再拡張やまちの魅力の向上によって、区内外から多数の来訪者を集め、多彩な交流活動が行われる活力あるまちを実現します。

個別目標の検討、案の作成

個別目標とは

個別目標とは、領域をさらに細分化した分野に対する目標のことです。

基本目標の実現に向けて、領域を構成する分野ごとに将来実現すべき姿を、簡潔な言葉と説明文で表現していきます。

この個別目標は、専門部会で審議する各論点の分野にほぼ一致させていくことを想定しています。


文章表現： が、 を します

各論点の分野

まちづくり

羽田空港と臨海部

産業

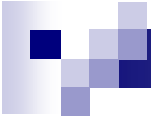


個別目標の検討、案の作成 まちづくり分野

個別目標

【例示】

- ・地域の特性を活かした、魅力的なまちを創ります
- ・ウォーターフロントを活用し、豊かさを盛り上げるまちを実現します
- ・安全、安心なまちづくりが人々のにぎわいと心を結びます
- ・アートなまちと、魅力あふれるにぎわい空間を創出します
- ・まちの魅力を活かしたまちづくりを進めます

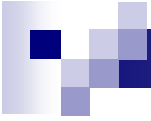


個別目標の検討、案の作成 羽田空港と臨海部分野

個別目標

【例示】

- ・アジアとの交流を深め、多様な文化が織り成すまちを築きます
- ・首都空港「羽田」のときめきが、和を発見し、国際化のトビラを開きます
- ・国際都市にふさわしいまちをつくります
- ・羽田空港を含む臨海部を活かしたまちづくりを進めます



個別目標の検討、案の作成 産業分野

個別目標

【例示】

- ・オンリーワン技術と企業集積を推進し、明日の産業を拓きます
- ・ものづくりの原点を深め、世界の大田区ブランドを広めます
- ・職住近接の工業と商業を誇り、暮らしとまちの魅力を高めます
- ・地域社会に根ざした、きらめく産業を創出します
- ・日本、世界を支える大田区の産業力を維持します